

活動紹介

～ 出張紙芝居 ～

2月16日(日)と3月9日(日)に山陽小野田市自然保護協議会主催の「環境省のレッドデータブックで絶滅危惧 A に指定されている県民に身近な生き物達を学ぶ会」があり、葦の会にも「くろちゃんのかちばし」の紙芝居の上演依頼がきました。この紙芝居は公園で度々上演していて、クロツラヘラサギの特徴を知ってもらうとともに“みんな違ってみんないい”を考えてもらえる内容になっています。イベントには会員6名が参加し登場人物になりきって演じ分けました。子ども対象にわかりやすく作られていますが大人の方々にも好評でした。これを機に外に向けて発信していく場が増えれば葦の会の活動も広がっていくと感じました。

他にアサギマダラ、カブトガニの話題もあり、自然への思いを深めるイベントでした。



～ 活動を振り返って ～

春まつり、夏休み子ども早朝観察会、いきいきエコフェア、ふれあいまつり、クリスマスリース作りなど目いっぱい活動した一年でした。研修旅行や懇親会など楽しい行事もあった中で、特記事項としては初めて外部での活動をした事が挙げられます。山陽小野田市で行われた日本の希少生物種と自然環境プロジェクトで紙芝居を上演させていただきました。こうした活動は会が地域に繋がっていることの証であり、今後も機会を捕えて地域活動を進めていきたいと思えます。